

四谷大塚	5年						
	算数						
学習内容	1回 比の利用①2回 平面図形と比 ー相似の利用ー③3回 平面図形と比ー辺の比と面積比ー④4回 つるかめ算の応用と年令算						
家庭学習ポイント	夏期講習会で学習した「比」の考え方を使って、9月以降は平面図形や速さ、文章題だけでなくさまざまな分野の問題に取り組んでいきます。まずはこれまで「割合」という形で小数や分数で表していたものを「比」で整数で表し処理する練習を行います。比例配分は分数のかけ算と同じ考え方だということが、感覚的につかめればどんどん使いこなしていけます。線分図などへの書き込みも小数や分数ではなく整数で、ただし比の数字は実際の（単位付きで表すことができる）両そのものではないので、数字を○や□で囲っておくことを習慣としましょう。2回では相似を学習します。つねに「同じ形の2つの三角形をくらべている」ということを意識し、対応する辺どうしの比をもとに考えるようにしましょう。3回では辺の比と面積比（区切り面積）を学習しますが、2回で学習した「相似比の2乗の比が面積比」と混同しないように注意しましょう。この「区切り面積」の考え方は入試でも多様します。4回はつるかめ算の応用と年令算です。						
課題の把握と解決策	チェック1	比のしくみ、概念を正しく理解できていますか？					チェック
	解決策	理解が進まない場合は分数、約数、倍数、割合などの理解度をチェックしてみましょう					□
	チェック2	相似比と面積比の関係を正確に理解していますか？					チェック
	解決策	「相似比」と「底辺と面積の比」の違いを正しく説明できるようにすることが大切です					□
	チェック3	相似の問題（特にピラミッド型相似）で辺の長さを間違っていないですか？					チェック
	解決策	つねに「2つの三角形をくらべている」という意識で対応する辺の長さの比を考えましょう					□
	チェック4	区切り面積の考え方を使いこなしていますか？					チェック
	解決策	「高さの等しい三角形」を図形の中で常に探してみましょう					□
	チェック5	つるかめ算、年令算では「定番」の図や表を書いていますか？					チェック
解決策	特殊算においては「決まった手順を必ず実行する」ことが非常に重要になります					□	
四谷大塚	5年						
	国語						
学習内容	1回 物語・小説(7)／心情変化③ 表現技法①／和語①②2回 説明文・論説文(7)／細部分析 表現技法②／慣用句①②③3回 物語・小説(8)／性格と人物像 表現技法③／三字の熟語④4回 詩／詩を読み解く 手紙文の約束事／四字の熟語						
家庭学習ポイント	9月の予習シリーズの読解は物語・小説が2回、説明文・論説文が1回、そして詩の読解が1回となります。物語文の読解については1学期、夏期講習に引き続いて心情変化の読み取り、登場人物の性格や人間像の理解のしかたについて学んでいきます。物語や小説には「ストーリー」があるため、それがわかれば「わかったつもり」になりがちなのですが、問題を解く場合は出題者の視点に立ち「本文のどの部分に注目させようとしているのか」を意識することが大切です。「このような場合は僕（私）なら○○と思う」という自分の気持ちに引っ張られず「□□という表現があることから、登場人物が△△のように感じていると考えられる」のように客観的に読むことを、引き続き練習していきましょう。詩の読解は、物語や説明文に比べても抽象的であったり情報が少なかったりするので、自分なりに情景を映像のように思い浮かべてみることも大切です。知識分野は和語、慣用句、熟語などについて学習しますが、特に和語はしっかり覚えておくのと読解にも役立ちます。和語自体の意味を問う出題も多く、できるだけたくさん知っておきたいですね。						
課題の把握と解決策	チェック1	物語文の読解において登場人物の心情を正しく読み取れていますか？					チェック
	解決策	場面の变化、情景描写の変化などに注目しましょう					□
	チェック2	「説明文・論説文の読解のポイントは事実と意見の読み分け」が身につきましたか？					チェック
	解決策	夏期講習から引き続いて、意識して文章を読み取りましょう					□
	チェック3	和語を使う場面を具体的にイメージしながら覚えていきますか？					チェック
	解決策	実際に和語を使った例文を親子で考えてみてほしいですね					□
	チェック4	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？					チェック
	解決策	夏が終わりましたが、9月以降も朝学習などで続けていきましょう					□
	チェック5	詩の読解において「映像化」をしていますか？					チェック
解決策	状況をありありと思い浮かべる練習をしておきましょう					□	

四谷大塚	5年						
	理科						
学習内容	1回 生物のつながり ¹ 2回 てこ・滑車・輪軸 ² 3回 水溶液の中和 ³ 4回 ヒトと動物の消化・吸収						
家庭学習ポイント	1回「生物のつながり」では、生物動詞の「食べる・食べられる」の関係を学びます。そのスタートは「生産者」と呼ばれる植物（植物プランクトンを含む）であること、食べられる生物よりも食べる側の生物のほうが、体が大きく個体数が少ないことなどを前提として知識を組み立てていきましょう。力学単元の「てこ」ではおもに左右のつり合いを考える問題が多いですが、「左右」だけでなく「上下」を強く意識することが大切です。特に「かっ車と輪軸」では上記の「上下のつり合い」を意識することが大切です。また滑車では「滑車の左右のひもにかかる力の大きさは常に等しい」ということをしっかり意識して考えることも大切です。3回は中和についてです。本格的な化学計算は上巻の「水溶液の濃さ」以来ですが、今回は中和反応のしくみを理解し、その様子を「ことばの式」で「塩化水素 + 水酸化ナトリウム → 塩化ナトリウム + 水」のように書き表し、そこに数字を入れて比例計算をしていくことがポイントです。算数同様ですが「簡単だから書かなくてもできる」と考えて基本問題でこの整理を「端折る」子は伸びません。基本問題から応用問題まで、常に同じ書き出しで取り組むことが大切です。4回「ヒトと動物の消化・吸収」は覚えることが多いですが、ヒトの消化に関しては、消化液とその働きを中心に知識をつけていくとよいですね。						
課題の把握と解決策	チェック1	食物連鎖に関して水中、陸上の具体例をあげることができますか？					チェック
	解決策	水中であれば「ミドリムシ→ミジンコ→メダカ→タガメ」などですね					□
	チェック2	てこのつり合いにおいて「上下のつり合い」を意識できていますか？					チェック
	解決策	「左右」だけに気を取られないよう意識しましょう					□
	チェック3	組み合わせかっ車の問題を正確に解けていますか？					チェック
	解決策	「かっ車の左右にかかる力の大きさは等しい」ということをつねに意識しましょう					□
	チェック4	中和計算ではつねに「ことばの式」を書いて計算していますか？					チェック
	解決策	簡単だと思っても、まずは条件を整理して取り組むことでミスもなくなります					□
	チェック5	どの消化液がどの栄養素の消化にかかわるか、整理できていますか？					チェック
	解決策	「唾液はデンプンを麦芽糖に」「胃液はタンパク質をペプトンに」と図に整理しましょう					□
四谷大塚	5年						
	社会						
学習内容	1回 旧石器時代・縄文時代・弥生時代 ¹ 2回 古墳時代・飛鳥時代 ² 3回 奈良時代 ³ 4回 平安時代						
家庭学習ポイント	9月から本格的に歴史の学習が始まります。「旧石器時代・縄文時代・弥生時代」～「古墳時代・飛鳥時代」～「奈良時代」～「平安時代」と進み、9月中旬に平安時代までを終えます。歴史の学習では地理以上に「時代の流れ」つまり出来事同士の因果関係の理解を意識して学習することが大切です。その意味でも、年表を利用して知識を整理するのが効果的です。年表を確認した上で、あらためて予習シリーズを読み、歴史の流れを把握しましょう。また、その時代に活躍した主要な人物を軸につかむことが大きなポイントになります。たとえば平安時代中期の政治史であれば、その中心人物は間違いなく藤原氏であり、藤原氏が政敵を倒して摂政を独占していく流れを、しっかり掴んでおくことが最大のポイントになります。江戸時代～近代とくらべてまだ登場人物は少なく、流れをシンプルに理解しやすいので、ぜひこの時期に歴史の学習のしかたの「スタイル」を確立してしまいましょう。地理の学習から離れて忘れてしまいがちですが、それぞれの時代の中心となる舞台が日本地図上でどこなのか、把握しておくことも大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	遺跡などの場所を日本地図上で把握できていますか？					チェック
	解決策	旧石器・縄文・弥生については、各時代の遺跡の名前と位置を白地図上に書いて整理しましょう					□
	チェック2	飛鳥時代以降は、その時代を代表する人物を把握できていますか？					チェック
	解決策	以後常にこのことを頭に入れて歴史の学習に取り組みましょう					□
	チェック3	歴史学習の入り口として、年表を活用できていますか？					チェック
	解決策	演習問題集にも年表を使った問題があります。活用して歴史の流れをつかみましょう					□
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？					チェック
	解決策	特に地理が苦手だったお子さんは、長期間放置すると大変です					□
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？					チェック
	解決策	古代～中世くらいのうちに「因果関係で流れを掴む」学習法を身につけてしまいましょう					□